

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

②事業者情報

名 称： 社会福祉法人 和光会 加納西保育園	種別： 保 育 所
代表者氏名： 伊 藤 洋 子	定員（利用人数）： 70 名
所 在 地： 岐阜市加納神明町4丁目12	Tel 058-271-8946

③総 評

◇特に評価の高い点

加納西保育園は社会福祉法人和光会が運営する保育所である。前身は岐阜市立保育所で、昭和26年設立という岐阜市でも歴史のある保育所であったが、平成22年に和光会に運営移管された。和光会の保育事業への参画は、平成20年からの沖ノ橋保育園に続くこれが2か所目となる。

和光会グループは長年岐阜市を中心に医療、介護、福祉の幅広い事業を展開しており、そこで培った個別あるいは公共的なサービスのノウハウを融合し、地域に暮らすあらゆる人への総合的で生涯を通じた支援の実現を理念に掲げている。保育所経営はその子育て支援部門の中核にある。

今各地で進められる保育所民営化は、延長保育など多様化する保育ニーズの充足、経営センスが発揮され小回りの利く健全な財政運営、待機児童の解消などが一般的には理由に挙げられる。平成23年度までの10年間に計15か所が民営移管し、施設の数でも利用者の数でも完全に官民比が逆転した岐阜市においても、保育行政のスリム化や民間ならではの魅力を加えながらの効率経営、延長・一時保育実施（これは殆ど民間保育所が担っている）施設の目を見はる増加などにその効果が現れているように思われる。

ここ加納西保育園でも通常保育・特別保育はもちろん、園庭開放、図書貸出、コアラっ子（地域の親子の定期的な集まり）、日曜広場、赤ちゃんステーションなど公立時の事業を維持しており、またはそれにプラスしたサービスも当たり前のように提供されている。体操教室・英語教室などの保護者から希望の高かった新しい教育プログラムの実施もたいへん評判が良い。

にもかかわらず民営移管初年前後には、利用者からの厳しい見方がここでもあったという。それは戦後以来保育をけん引してきた公立保育への信頼であったり、変化への慎重さの表れとも言えるであろう。

しかしそこで努めて行われたことが、とにかく利用者と話すことであったという。保護者から

の意見に自らを閉ざすことなく、むしろ開くこと、きちんと向き合う、向き合うから理解できる、信頼あればこそ言いにくい事も聞ける、すると課題が見つかる。課題は皆で共有し全員が考えるということをや々3年間続けられた。確かにここでは些細な要望にも対応が早く、何かが改善すれば、「きっと誰かが提案したのだろう」と思うという評判があった。

さて、加納西保育園の園庭には当園のシンボルである大きな檜の木があるが、この檜の木のように青空に向かって大きく育ってほしいという願いが込められている。当園の目標は「木育、知育、食育」の3本柱の実践で構成されているが、とりわけ「木育」は当園の独自の実践であり、自然を大切に身近な樹木に興味を持ち、大切にする気持ちを育てたい、また自然とのつながりだけでなく、人とのつながりも大切にしてほしいという思いが込められている。

調査訪問時、当園は増築工事中であった。この3月には工事完了し、主に特にニーズの高い0～2歳児の保育に対応し、40名の利用数増員となる。初めての増改築も施され、加納西保育園のカラーが鮮明になるのはいよいよと、楽しみな4年目のスタートである。

◇改善を求められる点

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価受審と増改築工事と重なり、第三者評価を受審するための特別な準備はできませんでした。職員とは普段通りの保育を見てもらい、ご意見をいただこうと面接日を迎えました。結果、このような評価をいただき、大変嬉しく思います。

今回の評価を励みに、さらにより良い、またより高い保育を目指して、職員一同頑張ります。今以上に地域に愛され、利用者に満足していただける保育園を目指します。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>法人の保育理念「安心安全の保育園」「ともに学び合う保育園」「開かれた保育園」が明文化され、理念に基づく基本方針として、「豊かな人間性を持った子どもたちの育成」が明文化されている。保育目標「思いやりのある子」「感性豊かな子」「自ら学ぼうとする子」が明文化されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。		
	Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	Ⅰ-1-(2)-② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>理念や基本方針の職員周知については、年度初めの職員会議において文書を職員に配付し、周知徹底を図っている。また実践を通して理念等の確認をしている。</p> <p>利用者等への周知については分かりやすく文書化し、保育所だよりやパンフレットに記載し、入所式や行事の際に保護者にわかりやすく説明する等して周知に努めている。また、地域の方々への周知については、子育て支援事業等の機会に説明する場を設けて周知に努め、公民館、児童センター等関係機関にもパンフレットを置き、広く周知を図っている。玄関に法人の理念、事業所の理念、基本方針等が掲示され、ホームページに掲載し情報発信している。ホームページはかなり充実した内容で構成されており、ホームページからの入所申込みも受け付けている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

I-2 事業計画の策定

I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、延長保育、一時保育等様々な保育形態のニーズが高まっていること等を踏まえて、保育園としての事業展開の方針を示した中・長期的な施策体系を策定している。</p> <p>中・長期計画を踏まえ、年度ごとに事業計画を策定している。方針を明確にし、保育目標を設定し、保育内容に反映させている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	Ⓐ・B・C
	I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>法人本部に子育て専門員を配置し、各職員会議で課題分析し、法人役員、保育所職員全員で検討し、作成している。</p> <p>職員への周知については、半期ごとの本部理事会、職員会議、主任会、副主任会、未満児会、以上児会、保育園会議等で周知を行い、また保護者会にはわかりやすい資料を作成し、保護者会で説明し、周知に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	Ⓐ・B・C
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・B・C

<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>園長はその役割、責任を職務分担表において明らかにし、職員会議等で意見を表明している。保護者には各種たよりや行事を通して保育姿勢を表明している。また管理者は研修会の参加等を通じて遵守法令の習熟に努め、職員会議や職場内研修を通して職員への周知を図っている。保育関連法令や倫理・人権・接遇に関する資料をファイルしている。</p>
--

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ－１ 経営状況の把握

Ⅱ－１－（１） 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者評価結果
Ⅱ－１－（１）－① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－１－（１）－② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－１－（１）－③ 外部監査が実施されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育事業関係の動向については、全国社会福祉協議会発行の「保育士会だより」「ぜんほきょう」等の各種専門誌や所長研修、園外研修等から情報収集し、また市担当課、関係機関、地域団体と連携して情報収集に努めている。収集した情報は、職員会議等を通じて全職員に周知を図っている。</p> <p>各種行事、保育参加での保護者アンケートや懇談会、保護者役員会での意見聴取等で保護者ニーズを把握している。また園庭開放、子育て支援事業実施を通して地域の未就園児等のニーズの把握に努めている。ニーズ分析は、職員会議等で行い、次の計画に反映させるよう取り組んでいる。また、消耗品や光熱水費等の節約の工夫をする等コスト意識を持ち、予算の効率的執行に心がけて保育所運営に努めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。	第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）－① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅱ－２－（１）－② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>パート職員はなく、職員全員が正職員で構成され、複数担当制の他、未満児・0歳児のフリー職員の配置等、必要な人員体制が取られている。資質の向上をめざし、法人独自のキャリアパス制度のポイント制を取り、個々の能力開発に取り組んでいる。人事考課マニュアルに基づき、人事考課を実施している。法人全体にチャレンジシートという目標管理制度を導入し、自己研鑽への意識を高めると共に客観的な評価に努めている。PDCAサイクルの途中経過での面談や1年サイクルを終えての達成面談を実施し、達成状況の把握に努めるとともに職員の意欲を高めるように留意しつつフィードバックを行い、透明性を高めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。</p>	
<p>Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ－２－（２）－② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>勤務表を職員室に掲示している。職員の就業状況や有給休暇の取得状況をチェックし、積極的に取得できるよう職員の意向の汲み上げを行い、バランスの取れた職員配置に留意しつつ勤務表を作成している。主任クラスは外部のメンタルヘルス研修を受講し、職員への声掛けや面接の機会や意見を聴く機会を設ける等職員が相談しやすい職場環境づくりを心掛けている。法人内に相談部署があり、相談できる体制が確立している。また職員旅行、親睦会や忘年会など互助会制度を設け、法人内福利厚生に取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。</p>	
<p>Ⅱ－２－（３）－① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ－２－（３）－② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>Ⅱ－２－（３）－③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個別の目標管理に基づいて研修の年間計画が策定され、その中で、各職位、経験年数別研修や様々な外部研修を実施している。所内研修では各保育士が担当責任者となり保育所の実態に即した研修を行っている。新入職員についてはOJTシート教育指導を行っている。また本格的な実施は今後の課題であるが、新たな実践的な試みとして公開保育に取り組んでいる。参加した研修についてレポートの提出や職員会議等で報告を行い、成果について評価を行い、次の研修へ反映させている。</p>	

改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－２－（４） 実習生の受入れが適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－２－（４）－① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>実習生受け入れマニュアルが整備され、実習生受け入れの意義や方針が明文化されている。マニュアルは職員会議で全職員に周知している。実習生を受け入れにあたり、担当者窓口を設置し、保育士養成校と連携しながら、実習プログラムを作成し、それに沿った実習を行っている。実習は事前のオリエンテーションを行い、実習後はカンファレンスを行い、感想レポートを分析し、次年度の受け入れに反映させている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－３ 安全管理

Ⅱ－３－（１） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
	Ⅱ－３－（１）－① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－３－（１）－② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－３－（１）－③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園長は、各種安全確保のための講習に積極的に参加し、各種緊急時マニュアルや安全管理マニュアル(事故防止・保健衛生・感染症・不審者対策・個人情報保護等)を整備し、責任と役割を明確にした緊急時の速やかな対応体制を整えている。感染症発症時には子どものプライバシーに配慮しつつ事務所前掲示等により保護者に情報提供している。各種訓練(避難訓練・防災訓練・不審者侵入時訓練等)を定期的実施し、評価、見直しを行っている。不審者対策の一つとして近くの駅前交番によるパトロールが行われている。</p> <p>災害時に対する安全確保については、地震・防災マニュアルを全職員に周知し、緊急連絡網、Eメール送信システムを整備している。BCP計画への取り組み今後の課題である。</p> <p>子どもの安全確保のための事故防止、遊具、用具の点検マニュアルを整備し、事故防止チェックリストを活用して事故防止に努めている。また、ヒヤリハット事例を活用し、発生要因を分析し、事故の未然防止策を職員会議等で話し合い、職員の安全確保に対する意識を高めている。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－４ 地域との交流と連携

Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－② 事業所が有する機能を地域に還元している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（１）－③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>様々な地域行事には積極的に参加し、地域のニーズに応じて、園庭開放、子育て相談、図書貸し出し、未就園児親子子育て支援「コアラっ子」、地域子育て支援サークルへの支援、一時預かりを実施し、保育所機能の地域還元を行っている。また、保育所のパンフレットや行事の案内を地域の人に配布したり、地域の新聞の折り込み紙や児童館の情報紙に掲載してもらい、子育て支援の活動や子育て情報を地域に提供している。</p> <p>法人内のボランティア委員会が設置されており、その規定により運用されている。「ボランティア受け入れマニュアル」について職員会議で説明して周知し、それに基づいて受け入れている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
	Ⅱ－４－（２）－① 必要な社会資源を明確にしている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの保育に関連する社会資源や関係機関(小学校、公民館、児童館、市民健康センター、医療機関、発達相談センター、嘱託医、ことばの教室、子ども相談センター、主任児童委員、民生委員等)をリスト化し、資料をファイリングしている。また関係機関との連携を密に取り、必要な情報収集を行い、職員会で情報の共有化を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地域のニーズに応えるため、平成25年度より未満児クラスの増設及び充実を図っている。平成24年度4月より、肢体不自由児が入園したため、増改築により昇降口やトイレのバリアフリー化をしている。他に子育て支援ニーズに応えて、障害児保育、長時間・延長保育、一時保育、園庭開放、未就園児あそびのひろば「コアラっ子」、日曜広場等の事業を実施している。平成25年度より独自の取り組みとして「赤ちゃん木育寺子屋」「赤ちゃん木育広場」を開催する予定である。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもの人権や主体性を尊重した保育の基本姿勢が事業計画に明示しており、その基本姿勢を踏まえて各種計画を作成し、子ども一人ひとりの記録を記入し、きめ細やかな保育を実施している。人権や虐待防止等の園内研修を行い、職員に周知徹底を行っている。</p> <p>プライバシー保護に関してはマニュアルを整備し、園内研修を通じて職員に周知徹底を図っている。マニュアルに基づいてプライバシーに配慮した保育を実施している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ

<p>良い点／工夫されている点： 保護者参加の行事等でアンケートを実施している。また送迎時の声かけ、保育参加や個別懇談、クラス懇談会等の機会を捉えて保護者の意向把握に努め、保護者の意見や要望を職員会議で分析・検討し、改善する取り組みを行っている。アンケートの結果や意見に対する回答を機関紙で公表し、施設で掲示している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>	
<p>Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。</p>	<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 毎日の送迎時や顔を合わせる度に声掛けをし、話しやすい関係づくりをしている。園長による「常に誠実であれ」ということを念頭に日々の業務に取り組んでいる。第三者委員の設置などの苦情解決の仕組みが確立しており、玄関に意見箱を設置し、苦情解決の仕組み、第三者委員や苦情相談窓口担当を分かりやすく明記し、掲示している。小さな意見でも職員が共通認識のもと丁寧な対応に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅲ－２ サービスの質の確保

<p>Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。</p>		<p>Ⓐ・Ｂ・Ｃ</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保育所の自己評価については、各職員が自己評価を行い、その評価結果を職員会議で分析し、課題を明確にして全職員で共有し、改善策を立て実施している。改善策の実施状況について見直しを行う一連のPDCAサイクルの継続により保育サービスの質の向上に向けた改善への取り組みを行っている。また、目標管理制度の中でもサービス評価の仕組みがある。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（２）－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>個々のサービスの標準的な実施方法について、個々のサービスに応じた各種マニュアルを作成し職員周知に努めている。また保育課程に基づき、子どもの発達を捉えて指導計画を作成、保育を実施している。年間計画は、年1回の見直しと期別ごとの評価見直しを行い、月案は月1回、週案・個別指導計画は随時評価見直しを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－（３）－①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、個別記録に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況等を詳細に記録し、評価・課題分析を行い、翌月の計画につなげている。個人情報保護に関するマニュアルの規定に基づき、記録の保管、保存、廃棄を行っている。また、個人情報保護や守秘義務の遵守を会議や研修の場で周知を図っている。職員会議や研修の場でケース会議を行い、支援のあり方を話し合い、子ども一人ひとりの発達状況を共有している。会議に職員が出席できない場合は記録の回覧を行い、情報の共有化を図っている。</p>		

改善できる点／改善方法：

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－３－（１）－① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－３－（１）－② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービスの概要をホームページで情報発信している。</p> <p>入所希望の保護者に対して保育所の理念、基本方針、入所手続き、保育内容や料金等について記載された「保育所(園)入所案内」、保育所案内を配付し、十分な説明を行っている。</p> <p>新入園児健康診断時と入園式に保護者に説明をし、同意を得ている。保育園見学や体験入園等も岐阜市のマニュアルに従って実施している。とりわけ理念、基本方針、保育課程について書かれた配布物や入所に際しての持ち物についての内容は具体的でわかりやすく初めて保育所を利用する保護者にとってはとても参考になるものとする。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
	Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育サービスの変更や転園に際しては、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。就学児については、入学する小学校に保育所児童保育要録を送付し、子どもの育ちの継続に配慮している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者のアセスメントについては、園で統一したアセスメント様式を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。子ども一人ひとりのニーズをアンケートや保護者懇談会の実施、送迎時の声かけ、連絡帳のやり取り等で把握している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
	Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
	Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施計画の策定は、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保育課程に基づき、地域性や保護者の意向を踏まえて、職員会議で話し合い、指導計画を作成している。</p> <p>指導計画は、職員会議で定期的に評価分析を行い、見直しを行っている。個別の指導計画の見直しは各クラス担任が話し合い、一人ひとりの発達把握や理解を深め、次の計画作成に活かしている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本

Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育課程は園独自の保育目標「木育、知育、食育」等に基づき、子どもの各年齢における発達過程を踏まえて、地域との結びつきが強い特色(日曜広場、園庭開放、音楽会、観劇等実施し、地域の人々に楽しんでもらっている)を活かして編成されている。「木育」とは、自然を大切に身近な樹木に興味を持ち、大切にする気持ちを育てたいとのことで、木育寺小屋では親子で岐阜県産の積み木で遊ぼうという活動を行い子どもたちが大いに楽しんでいるとのことである。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>乳児室の床はクッションのある床材であり、保育室とトイレはバリアフリーになっている。トイレはカラフルで明るい雰囲気となっている。室温管理、衣服の調節、健康状態の確認も随時行い、チェック表や連絡帳に記入している。健康状態については送迎時に伝えたり、連絡帳を使用して保護者に伝えている。室内には手作りおもちゃや年齢や発達に応じた玩具が用意されている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもたちの情緒の安定を大切にしており、家庭とも連携を図り、園と家庭とが同じ思いで子どもの成長を見守ることができるよう配慮している。連絡帳の交換で子どもたちの健康状態を把握している。</p>	
改善できる点／改善方法：	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>一年を通して木育活動、体力活動を取り入れ、各年齢の活動計画を基に指導を行っている。「木育」では自然とのつながりだけでなく人とのつながりも大切にしている。体操教室、英語教室、れんげの種まき、田植え、お茶のお手前等を体験し、五感を発達させていく保育を目指している。異年齢での遊びでは小さい子への思いやりや大きい子に対しての憧れの気持ちが芽生えるように保育をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-1-(5) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>指導計画に就学に向けての取り組みを入れ、期待が持てるよう取り組んでいる。年長児と1年生との交流や個別懇談や送迎時等での子どもの様子の伝達を通して、子どもや保護者が安心して就学を迎えられるよう努めている。園と小学校との連携については園長が小学校の参観に行ったり、運動会に職員が参加したり、小学校教諭との意見交換、園の様子を見ていただく等の交流がある。年長児のほとんどが同じ小学校に入学することによって小学校については身近な存在であり、就学に向けての不安は少ないとのことである。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
IV-2-(1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園庭が広く、園周辺には建物があまりなく、日当たりも良く、のびのびできる環境である。室内は、エアコン、換気、加湿器等の調整がされ、年齢に応じたコーナー遊びや手作り玩具も用意している。訪問時、室内や戸外は改装中で環境については判断できにくい面もあったが、子どもに優しい目線で環境整備が進められている様子がわかる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>自分たちの持ち物を整理しやすいようマーク入りのケースを用意している。その方法は園として共通の方法で子どもたちが迷わないように配慮している。生活面での約束は「元気っ子」の集会で子どもたちに伝え、大切な基本生活や習慣が身につくようにしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年長児が行う各種当番活動(人数当番、味見当番、飼育当番)と各クラスの当番活動があり、子どもたちが主体的に行っている。特に週2回行う給食の「味見当番」は年長児が当番活動として大変楽しみにしている活動であり、「やわらかい」「甘い」等素直な言葉が聞けるとのことである。異年齢同士の交流する場として木育活動や当番活動、誕生会、行事、会食等を設けている。また近隣の保育園との交流で友だち関係を深めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
IV-2-(4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。	(A)・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 「木育」活動の活動拠点は加納城址光園であり、四季折々の自然を感じ、いも掘り、椎茸狩り、蜂蜜取り等貴重な体験をする機会がある。またお茶会や公民館祭り、高齢者施設への訪問、美術館、科学館に遊びに行ったり、駅前交番に年長児が感謝状を届ける等身近な地域や人々と関われる環境が整備されている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保育活動に絵本や紙芝居の読み聞かせや歌を歌ったり、リズム遊び等の表現活動が多く取り入れられている。老人会に歌のプレゼントに行ったり、公民館祭りに参加発表する機会もある。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-3 職員の資質向上

<p>IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。</p>	<p>第三者評価結果 Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 自己評価、チェックリスト学習会を行い、他の保育士や園長の助言を受けながら、自己の保育実践を振り返っている。月2回の職員会では自分の保育実践について、取り上げて欲しい問題を出し、話し合っている。若い保育士は経験のある保育士や園長の助言や指導を受け、専門性の向上に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

<p>V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。</p>	<p>第三者評価結果 Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 一人ひとりの思いを大切にされた保育に心がけている。家庭での食事の取り方、汚れた衣服を着ていないか、汚れたままの持ち物ではないか等を目安に応じて援助を行っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 個別支援計画を作成し、個別指導により集団生活の中でその子に合った課題を見つけ、生活できるように配慮している。発達相談センター、言葉の教室と連携を図り、情報交換したり相談する等している。法人内の障害福祉施設と障がい児福祉の勉強会を行っている。障害のある子どもとそうでない子どもと共に生活することで優しさが芽生えて思いやりが育っているとのことである。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 長時間カリキュラムを立て、遊ぶ環境や玩具に変化を持たせた保育をしている。長時間保育を受ける子どもの引き継ぎを口頭で伝えると共に早番遅番チェック表を使用している。チェック表で服装チェック、薬、降園時間等を記録することにより、引き継ぎを的確に行い、職員の連携を密にしている。また保護者には積極的に声をかけることや保育士間で連携を取り、子どもの様子を伝えるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果 (A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 家庭調査票に既往歴、予防接種の状況について記入してもらい情報を得ている。体調の悪い子は職員室にベッドが用意され休息できるようにして、園長、看護師が対応し、体調の変化、怪我等について保護者に連絡している。また子どもたちの健康状態については保育士の間で情報の共有している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 思い出ランチやクリスマス会では異年齢で食事を楽しんでいる。未満児はいろいろな味に慣れ、以上児は苦手な食材をひと口でも食べられるように子どもの負担にならないよう対応している。子どもたちが味見当番をすることで食に関心を持つようになっている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(3) 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 喫食状況について管理栄養士がクラスの食事の様子や感想を聞き、調理員に伝え、見直し、改善をしている。楽しく食べることを基本として食事を進めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	(A)・B・C
<p>良い点／工夫されている点： 眼科、内科、歯科の嘱託医がいる。就園前健診、定期健診(年2回)を行い、保護者に結果を知らせている。必要な健康管理について毎月「元気っ子会」で約束事として大切であることを知らせている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果 Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： アレルギー除去食については保護者と連絡を密にし、主治医の指示に従って適切な対応に努めている。食事においても誤食がないように保育士や調理員が個別に事務室で確認してから食事の提供をしている。特にアレルギーの強い子どもについては保育士とマンツーマンで対応している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 保育所給食衛生管理マニュアル、保育所給食調理必須マニュアル、食中毒発生時のマニュアルに基づいて調理を行っている。薬剤師の指導を受けながら管理栄養士が管理している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 改装中のため、戸外の通路には本日の食材の産地を明記したボードが設置され、献立のレシピは希望者に伝え、サンプルも週に2回展示している。毎日の給食の様子や喫食状況については送迎時や連絡帳で保護者に伝えていく。また保育参観で食事の様子を見てもらっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点： 送迎時や個別懇談会等に保護者とコミュニケーションを取りながら子どもの子育て等の支援を行っている。また連絡帳にも記載し、日常的な情報交換を行っている。保護者のアンケートを行い、思いを受けとめ指導計画に活かしている。民営化当時は保護者との信頼関係が確立されていなくて、コミュニケーションがうまくできなかったとのことであるが、現在では信頼関係が確立し、連携もうまくいっている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・B・C

<p>良い点／工夫されている点： 懇談会などで話し合いの場を設けたり、様々な行事(入園式、保育参観、運動会、英語教室、木育活動、誕生会等)や園だより、クラスだよりホームページを通し、保育の意図を伝え、共通理解を得るようにしている。未満児クラスでは日常の生活の様子をビデオにして参観日に保護者に見てもらい、とても喜ばれているとのことである。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 虐待マニュアルを整備している。虐待につながる様々な要因(朝食は食べているか、衣服の汚れはないか、ナフキンはきれいか、持ち物はきちんとしているか等)を日常的にチェックし、何か少しでも変化があれば園長、主任、副主任、リーダーに報告するようにして早期発見に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 毎月不審者対応訓練を実施している。様々な場面を想定しながら訓練し、課題をあげ、次の訓練につなげている。不審者情報が届いたらメール配信で保護者に伝えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 入園時に一年間の行事予定を知らせ、毎月のたより、ホームページにも翌月の行事を載せる等して積極的に参加を促している。参観日は平日と土曜日を組み合わせた日を事前に知らせている。保育参観や行事に参加できなかった保護者には資料を配布し、子どもの状況を伝えるようにしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。</p>	<p>(A)・B・C</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保護者役員会に職員が参加したり、保護者会会長とコミュニケーションを図りながら意見交換を行っている。運動会は保護者会の協力、援助が大きく、人形劇等行事の際のプレゼントについても保護者会からの支援がある。</p>	

改善できる点／改善方法：

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	Ⓐ・Ｂ・Ｃ
良い点／工夫されている点： 園長が小学校評議員として参加したり、就学前には幼稚園の園児と一緒に小学校を訪問している。また小学校の運動会等の行事に参加したり、小学校から先生が園の様子を見に来訪する等の交流を通して連携を深めている。	
改善できる点／改善方法：	